

8月1日(火)発行



ほぼ

日刊サマ-ミュージカ

Hobo Nikkan Summer Muza



若者の「熱気」をフルに引き出したゲルギエフ

7月31日(月) PMF オーケストラ © 藤井泰生

レナード・バーンスタインが人生最後の年、1990年に札幌で始めた国際教育音楽祭、パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)。PMFオーケストラは世界各地のオーディションを経て集まったエリート音楽学生、若いプロフェッショナルの集団で、通常の音大オケとは次元を異にする技術を備えている。2004年と06年に首席指揮者を務めた後、15年から芸術監督を務めているワレリー・ゲルギエフが若者たちのエネルギーをフルに引き出し、熱気あふれる音楽を造型する手腕も見事である。

ワーグナーの歌劇「タンホイザー」序曲には疲れもみえた

が、続くブルッフの「ヴァイオリン協奏曲第1番」で生気がよみがえった。火付け役は間違いなく、ゲルギエフの推薦で抜擢された2001年ストックホルム生まれの少年ヴァイオリニスト、ダニエル・ロザコヴィッチだ。冒頭のレチタティーヴォでもう「大器」を確信するだけの音を備えているのがわかる。大きくテンポを動かし、時に見栄すら切りながら息の長い歌を奏でるソロに対し、ゲルギエフも情熱的なバックでこたえた。アンコールのJ.S.バッハ、「無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番」第1曲「アルマンド」では一転して厳格な正攻法アプローチに徹し、底知れない才

能の深さを垣間見せた。

後半、シューベルトの「交響曲第8番《ザ・グレート》」は柔らかな感触で始まったが、展開部以降は「ゲルギ節」が爆発、まだ30歳に満たなかった作曲家に秘められた若さを存分、平日のもとにさらけ出した。ただ第3楽章以降、不思議なデフォルメが顔を出すたびに音楽の流れ、形而上の世界への飛翔が妨げられ、「天国的」と呼ばれた作品の再現としては問題含みの結果に終わった。PMFでの同曲では07年、リッカルド・ムーティの指揮した演奏の美しさが忘れられない。

池田卓夫(音楽ジャーナリスト)



マエストロ：ゲルギエフのサイン「素晴らしいホール！」とお褒めの言葉をいただきました。

フェスタサマ-ミュージカ KAWASAKI 2017

PARTNER SHOP

81 店舗

期間中、チケット提示で特典あり！

詳しくはパンフレットで！



【明日の朝刊休みます】

明日(8/2)は休演日のため、本紙の発行もお休みさせていただきます。次号発行は8/3です。

本日 8/1(火)

コンサート前のお楽しみ♪

読売日本交響楽団

プレ 14:20~18:00 渡辺俊幸によるプレトーク

▶▶NEXT!! フェスタサマ-ミュージカ

こどもフェスタ 2017 かわさきジュニアオーケストラ 発表会 《ヤングの全力疾走!》

8/3(木) 13:30 開演 (13:00 開場) ミューザ川崎シンフォニーホール

指揮/江上孝則
ヴァイオリン/山口ゆらら (ジュニアオケ選抜メンバー)☆
司会/山田美也子

チャイコフスキー：歌劇「エフゲニー・オネーギン」からポロネーズ
ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 第3楽章☆
チャイコフスキー：バレエ音楽「くるみ割り人形」から
《楽しい! アンダーソン特集》
ブルー・タンゴ、プリנק・プランク・プルンク、舞踏会の美女 ほか

当日券あり

全席指定 200枚程度 指定席 1,000円 ※4歳からご入場いただけます

- 電話予約なし
- 4階カウンター 10:00~12:00まで販売
- 当日券カウンター 12:30~販売

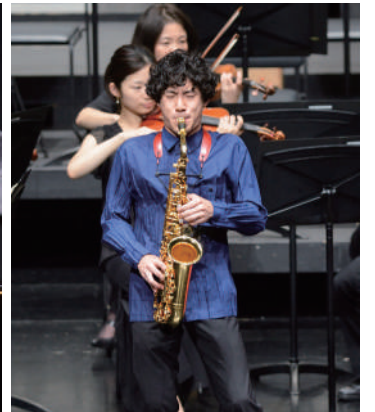
7月30日(日) 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 ©藤本史昭

名手の競演 三つの協奏曲

神 奈川フィルが伊藤翔の指揮で3種協奏曲公演を催した。まず、チャーリヒ歌劇場管弦楽団のコンマス岡崎慶輔によるブルッフ。第1楽章冒頭と終結部のモノローグは繊細に奏され、第2楽章ではリリックな歌が歌われ、フィナーレでは一転、力強いダブルストップ楽句が情熱的に奏でられた。次いでオーケストラの管楽器とティンパニが退場し、グラズノフのサクソフォン協奏曲。ソリストはサクソフォン界に薫風を吹き込んでいる上野耕平。冒頭部の弦楽主題に神奈川フィルと伊藤との相性のよさが窺える。上野の

ソロは夢見るような魅惑的な音色だ。ゆたかな音量。鮮やかなテクニック。人声のようなニュアンス。決め音も明瞭で何を伝えたいかよくわかった。後半は仲道郁代を迎えたチャイコフスキーのピアノ協奏曲。いつ聴いても仲道のソロには胸が躍る。瞬時に的確なタッチを選択しながら序奏主題をダイナミックに奏し、協奏部分ではわずかにオーケストラの前を歩く。そのテンポ感が絶妙だ。各主題の性格を明晰に弾き分けながら楽章を進み、白熱のフィナーレで疾走感のうちに曲を結んだ。

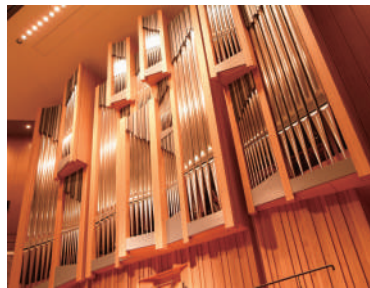
萩谷由喜子(音楽評論家)



QUIZ! なるほど ミュージザ

#10

ミュージザのオルガンが持つ音色!



【問題】

ミュージザの舞台の後方には、パイプオルガンが設置されています。日本最大級の大きさを誇り、ミュージザの顔でもあるこのオルガン。71のストップ(音色)を持っていますが、中には実はあまり他のオルガンには備わっていない、特別な音色が2つあります。さて、それらは何の音色でしょうか?

ヒントは、スイスのオルガン製作者が日本のオルガンに特別に備えてくださった、日本にゆかりのあるあの管楽器です。

→こたえは、この紙面の下(枠外)へ!



パートナーショップのご紹介
エンジョイ!
川崎!!
Enjoy Kawasaki

牛たん 利休

ラゾーナ川崎プラザ4階
パートナーショップP.19

サマーミュージザ特典 チケット提示で
1ドリンクサービス

※詳細はパートナーショップリストをご覧ください

仙台の名店の味を川崎で食べられる「利休」。あの分厚く柔らかい牛たん定食を横目に見つつ、川崎オリジナルのランチ限定メニューにトライ!

牛たんハンバーグ定食(1000円)は、麦飯、ミニ・テールスープのほかに、シチューやカレーから一品を選んで嬉しき満点。ふんわりしたハンバーグが多い昨今、この牛たんハンバーグは、ゴりっと肉を食べる歯応えが頼もしい。本日は、ミニ牛たんキーマカレーを選んで麦飯にON、すると野菜の旨味とスパイスが渾然一体。あれこれ選

べる上に、チケット半券で1ドリンクもサービスになるのは、まさに夏のお楽しみ。(事業課 もと)



当日の感動をすぐお届け!!

毎日
日刊サマーミュージザ
Hobo Nikkan Summer Muza



バックナンバーは
ミュージザホームページ
でも公開中!

http://www.kawasaki-sym-hall.jp/



チケットセンター 票券コンビニ

今日はチケットセンターの仕事中でも、あまり知られていない「要券」の話。チケットセンターの仕事とはいえ電話や窓口でお客様へチケットを販売したり、お問い合わせに答えたり、というイメージが強いと思いますが、実はその仕事内容は多岐にわたります。その一つを担うのが私たち「票券チーム」です。チケット発売に向けて、販売システムへの座席番号の登録、プレイガイドのやり取り等様々な準備を行い、発売後は売れ行きをチェックしながらお客様にスムーズにチケットをご購入いただけるよう随時調整を行っています。サマーミュージザは公演数も多く、発売準備に取りかかる2月から公演まで連日フル稼働。私たちが販売したチケットを手に当日会場にいらしたお客様のお笑顔を思い浮かべながら、全公演を無事に迎えられるよう頑張っています!

スタッフ日誌

友の会キャンペーン実施中

新規入会でもらえる!

サマーミュージザ期間中(8/11まで)に友の会に入会された方に、【サマーミュージザオリジナルチケットホルダー】または【ミュージザオリジナルトートバッグ】のいずれか1つをプレゼント!

ミュージザ友の会

- ・年会費3,000円
- ・チケット割引・優先予約などお得な6つの特典

詳しくは友の会入会窓口(ホール・歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

現・会員の方にプレゼント!

サマーミュージザ公演のチケットをご購入の友の会会員様に【生田の天然水「恵水」ミュージザラベル】1本をプレゼント!DM同封の引換券をお持ちください。

